

2023年 3月期
第3 四半期決算説明資料

2023年 2月

株式会社アルマード

全社業績

1. 年度着地見込が当初計画から乖離し、**通期業績予想を修正**

- 3Q累計 売上高 4,843百万円（前年同期比 117%）
- 3Q累計 営業利益 293百万円（前年同期比 47%）
- 通期業績予想を修正し、売上は上方へ、利益は下方へ修正

成長 セグメント

2. 直販顧客獲得は好調を維持し、3四半期連続で**過去最高の獲得数**

- 3Q単体及び3Q累計で過去最高の獲得数を記録し、定期会員数も堅調に推移
- 他主要指標である顧客獲得コストも引き続き抑制できており、前年同期比で良化

その他 トピック

3. 積極的株主還元は継続、**配当は増額**して実行

- BSマネジメントに基づく資本政策は引き続き積極的に実施
- 今期配当を55円→65円へ増額
- TV通販は最大の山場を無事クリア、外販OEM事業は一部期ズレも来期に向け明るい兆し

全社業績

1. 年度着地見込が当初計画から乖離し、**通期業績予想を修正**

- 3Q累計 売上高 4,843百万円（前年同期比 117%）
- 3Q累計 営業利益 293百万円（前年同期比 47%）
- 通期業績予想を修正し、売上は上方へ、利益は下方へ修正

成長
セグメント

2. 直販顧客獲得は好調を維持し、3四半期連続で**過去最高の獲得数**

- 3Q単体及び3Q累計で過去最高の獲得数を記録し、定期会員数も堅調に推移
- 他主要指標である顧客獲得コストも引き続き抑制できており、前年同期比で良化

その他
トピック

3. 積極的株主還元は継続、**配当は増額して実行**

- BSマネジメントに基づく資本政策は引き続き積極的に実施
- 今期配当を55円→65円へ増額
- TV通販は最大の山場を無事クリア、外販OEM事業は一部期ズレも来期に向け明るい兆し

- 3Q単体では、前年同期比でわずかに**増収増益**の着地
- 3Q累計では、前年同期比で**増収減益**、直販が好調も新規顧客獲得コスト等の増加で販管費が増加

(単位:百万円)

| 項目 | 3Q | | 前年同期比 | | 1Q-3Q累計 | | 前年同期比 | |
|-----------|-------|-------|-------|------|---------|-------|-------|------|
| | 前期 | 当期 | 差異 | 増減率 | 前期 | 当期 | 差異 | 増減率 |
| 売上高 | 1,665 | 1,692 | 27 | 102% | 4,130 | 4,843 | 713 | 117% |
| 売上総利益 | 1,015 | 1,197 | 181 | 118% | 2,602 | 3,278 | 676 | 126% |
| 販管費 | 610 | 773 | 162 | 127% | 1,980 | 2,985 | 1,004 | 151% |
| 営業利益 | 404 | 423 | 19 | 105% | 621 | 293 | -328 | 47% |
| 当期利益 (税後) | 280 | 297 | 17 | 106% | 432 | 205 | -226 | 48% |

(単位:円)

| | | | | | | | | |
|-----|------|------|-----|------|------|------|-------|-----|
| EPS | 27.8 | 30.8 | 3.0 | 111% | 42.9 | 21.1 | -21.8 | 49% |
|-----|------|------|-----|------|------|------|-------|-----|

- 通期計画に対する3Q末時点の進捗は、**売上は概ね計画通りも、利益は計画比で下振れ**
- 直販の顧客獲得好調による販促費増加、外販のOEM商品の一部期ズレ、TV通販の上期OA計画未達が利益に影響

(単位:百万円)

| 項目 | 23年3月期 | | 進捗率 | |
|----------------|---------|-------|-------|-----------|
| | 1Q-3Q累計 | 通期計画 | | |
| 全社売上 (a+b+c) | 4,843 | 6,250 | 77.5% | 概ね計画通り |
| a. 直販 売上 | 2,546 | 2,635 | 96.6% | 好調 |
| b. TV通販 売上 | 1,121 | 1,452 | 77.2% | 計画をやや下回る |
| c. 外販 売上 | 1,175 | 2,162 | 54.3% | 計画を下回る |
| (外販 売上 + 受注残*) | 1,741 | 2,162 | 80.5% | |
| 営業利益 | 293 | 940 | 31.2% | 計画を下回る |

*受注残：OEM取引で、すでに生産受注済みで当期中の納品・売上計上が高い確度で見込める取引高

全社業績：通期業績予想の修正

- 3Q終了時点で、年間着地見込が当初計画から乖離する可能性が高まったため、**通期業績予想を修正**
- 売上高**は、直販の新規顧客獲得が計画以上に順調に推移したことに伴い、**やや上方に修正**
- 利益**は、直販の新規獲得増による販促費増、外販の納品時期の一部期ズレ、TV通販の上期不調に伴い、**下方に修正**

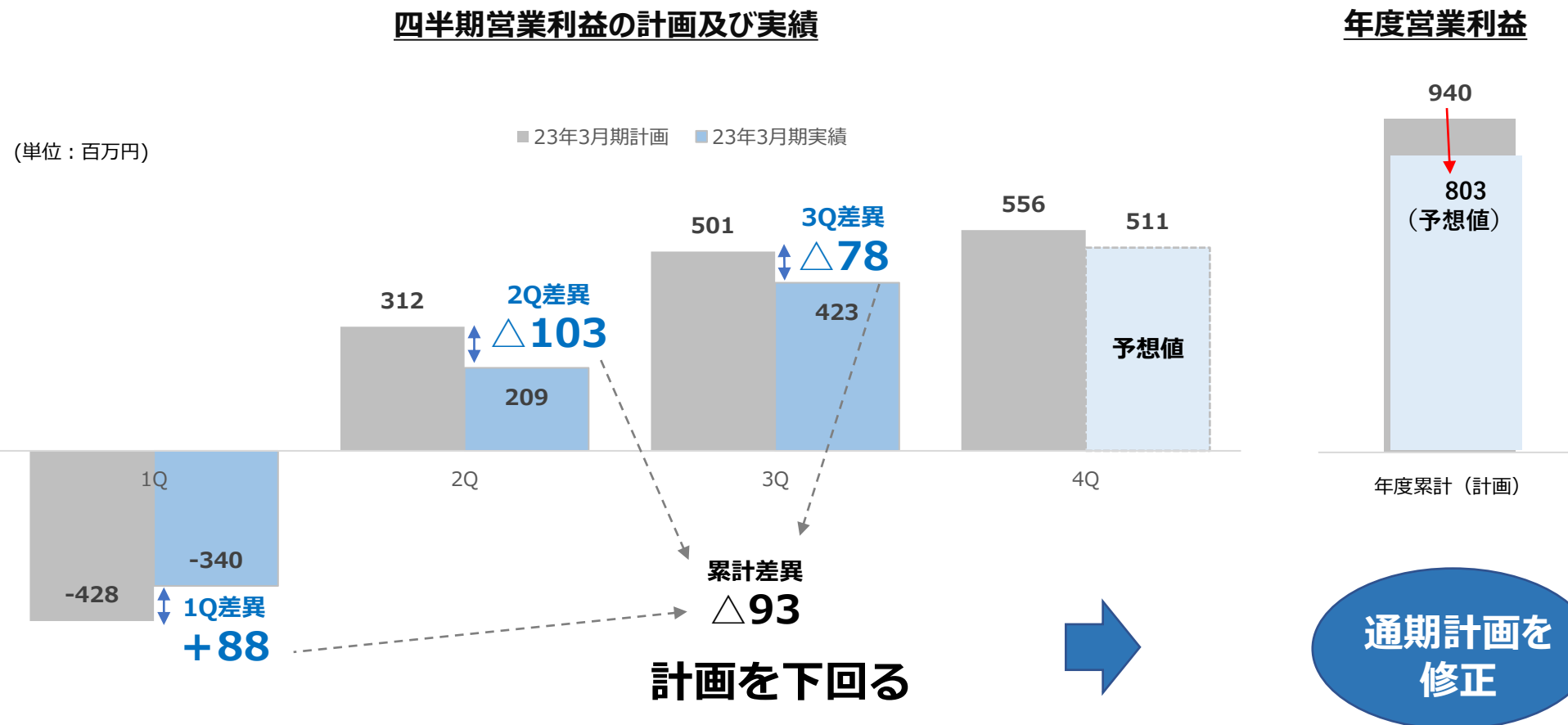
(単位:百万円)

| 項目 | 23.3期 通期業績 予想 | | 修正の程度 | |
|-----------|---------------|--------------|-------|------|
| | 修正前 | 修正後 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 6,250 | 6,500 | +250 | +4% |
| 売上総利益 | 3,936 | 4,300 | +364 | +9% |
| 営業利益 | 940 | 803 | -137 | -15% |
| 当期利益 (税後) | 645 | 560 | -85 | -13% |

(単位:円)

| | | | | |
|-----|------|-------------|------|------|
| EPS | 67.0 | 57.7 | -9.3 | -14% |
|-----|------|-------------|------|------|

- ・ 営業利益の計画比は、**3Q単体**で**423百万円の着地**となった
- ・ 直販事業での獲得好調に伴う**広告宣伝費の増加**、**外販OEM事業での納品の一部後ズレ**が要因
- ・ **3Q累計**では計画比△93百万円だが、**4Qの外販OEM事業での一部期ズレ**が確定したので**通期計画を修正**



全社業績

1. 年度着地見込が当初計画から乖離し、**通期業績予想を修正**

- 3Q累計 売上高 4,843百万円（前年同期比 117%）
- 3Q累計 営業利益 293百万円（前年同期比 47%）
- 通期業績予想を修正し、売上は上方へ、利益は下方へ修正

成長
セグメント

2. 直販顧客獲得は好調を維持し、3四半期連続で**過去最高の獲得数**

- 3Q単体及び3Q累計で過去最高の獲得数を記録し、定期会員数も堅調に推移
- 他主要指標である顧客獲得コストも引き続き抑制できており、前年同期比で良化

その他
トピック

3. 積極的株主還元は継続、**配当は増額して実行**

- BSマネジメントに基づく資本政策は引き続き積極的に実施
- 今期配当を55円→65円へ増額
- TV通販は最大の山場を無事クリア、外販OEM事業は一部期ズレも来期に向け明るい兆し

成長セグメント : 直販の主要指標の状況①

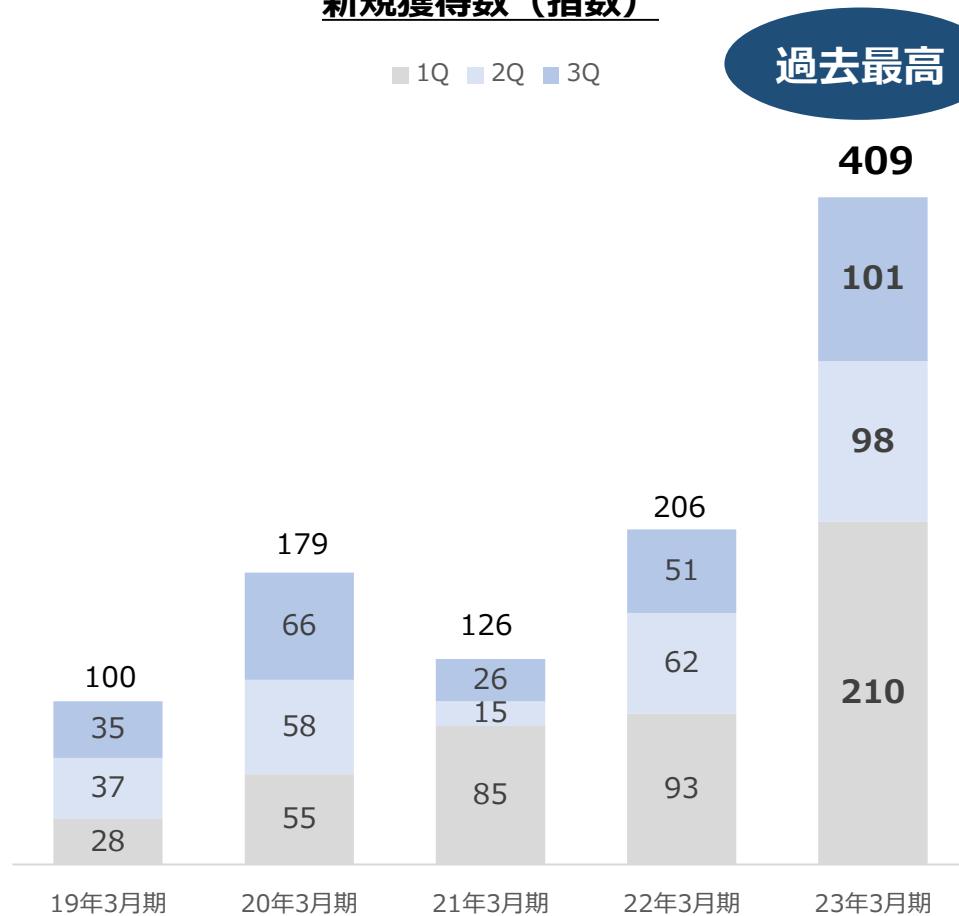
- 3Qも**好調な新規獲得ペース**を維持し、3Q単体及び累計で**過去最高の獲得数**を記録
- 定期会員数は前年同期比で+69.3%の着地、TVCM放映終了後も会員数は**堅調に推移**
- 4Qは獲得環境問わず**獲得を抑制**(当3Qの3割程度の獲得)するが、年間獲得数は**計画比1.5倍**の着地見込

新規獲得数 (指数)*

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q

過去最高

(単位:人)



定期会員数

Y on Y 成長率

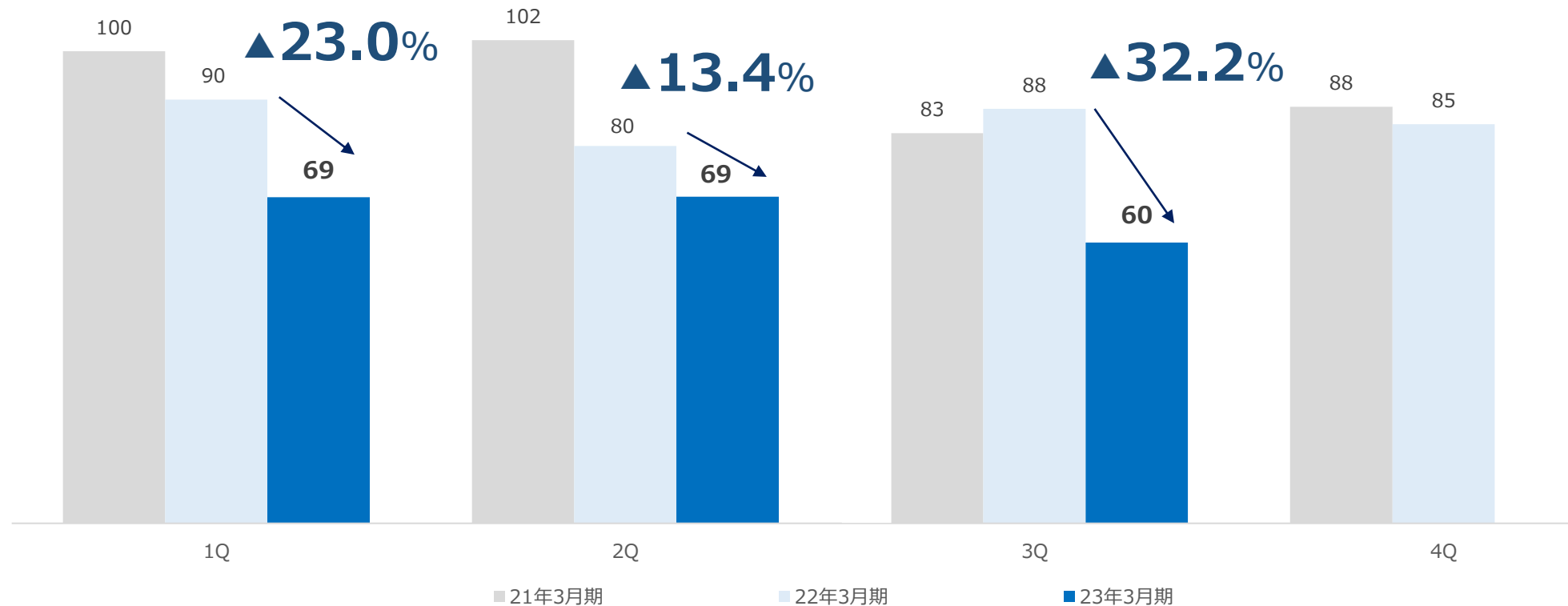
+69.3%



*指数: 19年3月期の3Q累計の新規顧客獲得数を100とした時の相対値

- 3Qでは顧客獲得効率を更に改善させ、前年同期比で**CPA***の抑制に成功
- これにより、新規顧客一人あたり期待利益が拡大し、将来の事業**収益性向上**につながる体質強化ができた

CPA (指数*)



*CPA：一人あたり顧客獲得費用

*指数：21年3月期1QのCPAを100とした時の相対値

全社業績

1. 年度着地見込が当初計画から乖離したため、**通期業績予想を修正**

- 3Q累計 売上高 4,843百万円（前年同期比 117%）
- 3Q単体 営業利益 293百万円（前年同期比 47%）
- 通期業績予想を修正し、売上はやや上方へ、利益は下方へ修正

成長
セグメント

2. 直販顧客獲得は好調を維持し、3四半期連続で**過去最高の獲得数**

- 3Q単体及び3Q累計で過去最高の獲得数を記録し、定期会員数も堅調に推移
- 他主要指標である顧客獲得コストも引き続き抑制できており、前年同期比で良化

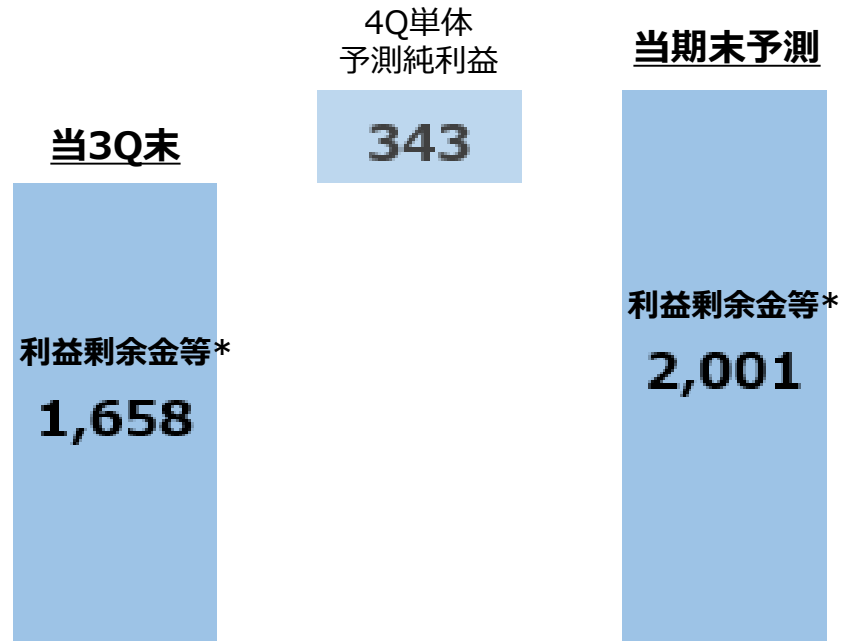
その他
トピック

3. 積極的株主還元は継続、**配当は増額**して実行

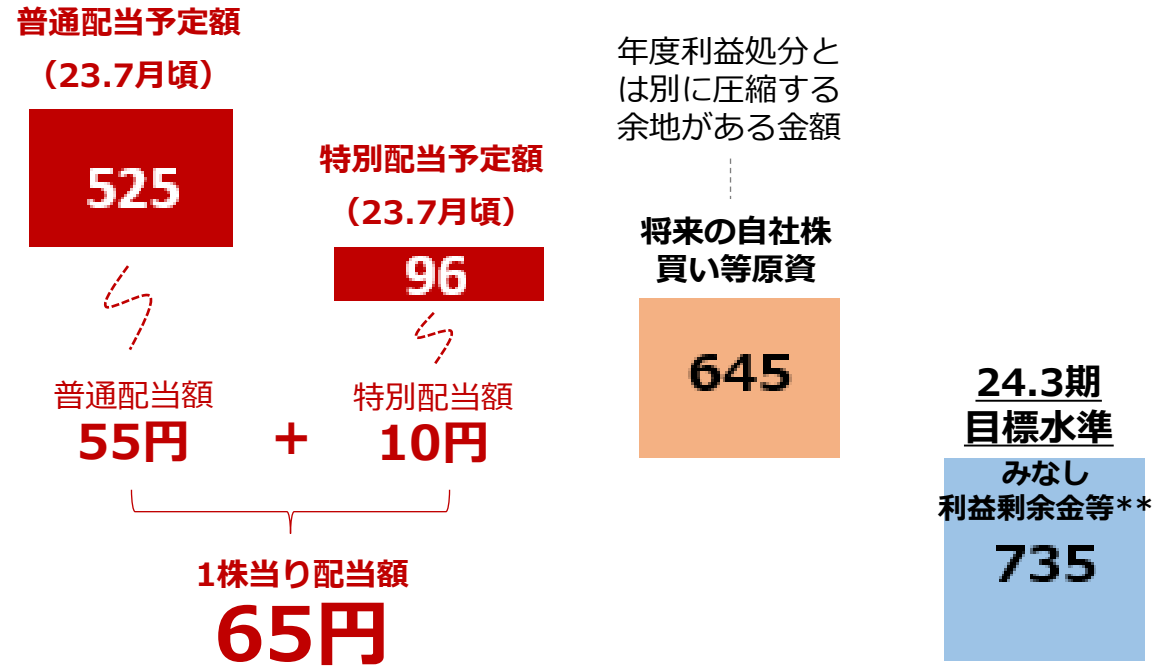
- 通期業績予想修正も資本政策に変更はなく、今期配当を55円→65円へ増額
- 利益下方修正の一要因のとなった外販OEM事業に来期明るい兆し
- TV通販は最大の山場を無事クリア、外販OEM事業は一部期ズレも来期に向け明るい兆し

- 当期業績予測に修正を入れるも、**積極的な株主還元施策は計画通り実行**
- 現状の資金及び剰余金水準を鑑み、当年度に係る**配当を1株当たり65円※（計画比+10円）に増額**
 ※65円=普通配当金55円+特別配当金10円

当年度末にかけての資本推移予測



将来の株主還元余地



* 利益剰余金等：繰越利益剰余金から自己株式の帳簿価額を控除した数値

** みなし利益剰余金等：“利益剰余金等”から翌期中に予定している配当額を控除した数値

- TV通販事業は**3Qの大型番組成功**、次期大型商材の開発が今後の課題
- 外販OEM事業は新プロモーションの反響が当社想定より遅れて発現、当期は計画比減も**来期受注に明るい兆し**

TV通販事業の3Qの状況と今後の展望

外販OEM事業の3Qの状況と今後の展望

3
Q
の
状
況

12月の大型番組は無事成功

- 事前の販促活動や番組内容の見直しが奏功
- サッカーW杯期間中という難しい状況の中、
計画比101.4%で着地



納品時期の一部期ズレにより、年間受注量は計画比減

- 当期納品分は3Q末時点ですべて受注済み
※年間計画比83%で確定
- OEM先の新プロモーションの効果が当社想定より
後ズレして発現したことが要因



今
後
の
展
望

消費は停滞気味、今後の成長に向けた仕込みを継続

- 来期は大型番組回数が減少見込み
- ヘアケア商材・美白商材のステップアップや新商品
開発が課題



後ズレで発現した新プロモーション効果の継続がカギを握る

- 新プロモーション効果により足元の受注は好調
- 現時点において来期1Q納品予定額は前年同期比
大幅増



Appendix

- 直販の定期会員基盤が拡大し増収も、新規顧客獲得増に伴う販促費や物流費も連動して増加

(単位：百万円)

| | 3Q | | 前年同期比 | | 1Q-3Q累計 | | 前年同期比 | |
|---------------|-------|-------|-------|------|---------|-------|-------|------|
| | 前期 | 当期 | 差異 | 増減率 | 前期 | 当期 | 差異 | 増減率 |
| 売上高 | 1,665 | 1,692 | 27 | 102% | 4,130 | 4,843 | 713 | 117% |
| 売上原価 | 650 | 495 | -154 | 76% | 1,528 | 1,565 | 37 | 102% |
| 売上総利益 | 1,015 | 1,197 | 181 | 118% | 2,602 | 3,278 | 676 | 126% |
| 販売費及び一般管理費 | 610 | 773 | 162 | 127% | 1,980 | 2,985 | 1,004 | 151% |
| 人件費 | 100 | 109 | 8 | 109% | 299 | 316 | 17 | 106% |
| 販促費 | 297 | 390 | 92 | 131% | 1,033 | 1,778 | 745 | 172% |
| 物流費 | 105 | 138 | 32 | 131% | 320 | 493 | 172 | 154% |
| 営業利益 | 404 | 423 | 19 | 105% | 621 | 293 | -328 | 47% |
| 経常利益 | 406 | 429 | 23 | 106% | 624 | 298 | -325 | 48% |
| 当期純利益 | 280 | 297 | 17 | 106% | 432 | 205 | -226 | 48% |
| 1株当たり当期純利益（円） | 27.8 | 30.8 | 3.0 | 111% | 42.9 | 21.1 | -21.8 | 49% |

- BSマネジメントにより借入金(流動負債)が増加し、純資産が減少したことで、流動比率及び自己資本比率が変動

(単位：百万円)

| | 2022年3月末 | 2022年12月末 | 差異 | 増減率 |
|-----------|----------|-----------|----------|--------|
| 流動資産 | 3,170 | 3,531 | 360 | 111.4% |
| 現金及び預金 | 1,175 | 904 | -271 | 76.9% |
| 固定資産 | 192 | 162 | -30 | 84.3% |
| 総資産 | 3,363 | 3,694 | 330 | 109.8% |
| 負債合計 | 675 | 1,750 | 1,075 | 259.1% |
| 流動負債 | 642 | 1,715 | 1,072 | 266.9% |
| 固定負債 | 32 | 34 | 2 | 107.2% |
| 純資産（株主資本） | 2,688 | 1,943 | -744 | 72.3% |
| 流動比率 | 493.2% | 205.8% | -287.3pt | - |
| 自己資本比率 | 79.9% | 52.6% | -27.3pt | - |

本資料は、当社に関する情報提供を目的としたものであり、国内外を問わず、いかなる有価証券、金融商品または取引に関する募集、投資の勧誘または売買の推奨を目的としたものではありません。本資料は、金融商品取引法またはその他の法令もしくは諸規則に基づく開示書類ではありません。投資のご検討にあたっては、投資家の皆様ご自身の判断で行うようお願いいたします。

本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記載が含まれています。これらは、当社が本資料作成時点において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記載は、一定の前提及び仮定に基づいており、また、当社の経営陣の判断または主観的な予想を含むものであり、国内外の経済状況の変化、市場環境の変化、社会情勢の変化、他社の動向等の様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明しまたは将来において実現しないことがあります。したがって、当社の実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。

本資料への掲載にあたっては万全を期しておりますが、その内容の正確性、完全性及び確実性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

世界の人々の人生に**健康と美しさ**をもたらす
卵殻膜と**バイオテクノロジー**で

ALMADO